輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

決して色褪せない思い出「修学旅行」
－Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

先週、13 日は、七十二候でいう「**菊花開（きっかひらく）**」でした。菊の花が咲き始める頃、菊は秋を代表する花。昔、6年生が、菊を世話していたことを思い出します。結構立派なもので、鉢植え１本仕立をしていました。夏休みの水やりなど結構大変な思いをしながら育てたことを思い出します。保護者の皆様の中にも、実際、菊の花を学校で育てたご経験がある方もおられるのではないでしょうか。また、今日は、七十二候でいう「**蟋蟀在戸（しっそつこにあり）**」です。コオロギが戸口あたりで鳴く頃、秋の「虫の声」が聞こえ始める頃になったということでしょうか。確かに昨日、今日の朝は冷え込みましたね。季節はどんどん進んでいるようです。

さて、先週 12 日、13 日、6 年生は、奈良・京都へ修学旅行に行ってきました。その出発式で、子供達には**①学ぶべきことをしっかりと学ぶ②自分の役割を果たす③友達、仲間との関係を再構築する**、この３つを目標に、この修学旅行を頑張りましょうと話をしました。１日目に訪れたところは、奈良では、法隆寺、唐招提寺、薬師寺、東大寺、京都に入り二条城、嵐山。2日目に訪れたところは、高台寺、鹿苑寺金閣、太秦映画村でした。日本最古の木造建築法隆寺では、多くの国宝を目の当たりにし、その重厚感、五重塔の美しさを感じました。幾度の苦難を乗り越え、来日を果たした高層鑑真の唐招提寺、以前、国語の教科書にあった「千年の釘」の舞台、東塔と西塔が並んだ薬師寺を見学しました。東大寺南大門の力強い阿吽の金剛力士像を見てその迫力に圧倒されました。日本最大の木造建築東大寺大仏殿では、その大きさ、広さ、中におられる廬舎那仏の大きさに、またも圧倒されました。昼食を済ませ、一路、京都へ、大政奉還という大きな歴史の舞台となった二条城、歩く度にキュッ、キュッと鳴る鶯張りの廊下を歩きながら、見事な建物、襖絵、欄間等、国宝の数々をゆっくりと見学しました。二日目は、高台寺で講話を交えた座禅体験、緑の山を背景に神々しく輝く鹿苑寺金閣と日本の歴史的遺産を巡りました。映像・写真ではなく本物に、直接、出会いました。経験と体験は、①の学びの源泉だと考えます。②の自分の役割を果たす。この修学旅行では、藤本添乗員さん、原田運転士さん、谷口ガイドさん、池田救急員さんには本当によくしていただきました。藤本さんには、細かな旅行日程調整、原田さんには安全・安心な運行、児童の昇降時における感染対策、谷口さんには見学場所での丁寧な説明、適切な時間配分、車内でのガイド、雰囲気作りに、池田さんには児童の健康管理に、正に、子供達の為に、最高の修学旅行の為に、惜しみない努力をいただきました。子供達にもそのことは伝わり、子供達もその姿に一生懸命に応える姿がありました。だからこそ、決して色褪せることのない修学旅行になったのだと思います。③では、班別行動でのその時々の振る舞いや共通体験、寝食を共にする体験を通して、友達の新たな姿を発見し、集団としての、仲間としての力を高め、より友達との繋がり、学級の繋がりを深めてくれたものと思います。そして、帰校式では、**６年生の頑張りと目標達成を喜び合い、そして、折り返しの時期、「卒業」の二文字を見据え、そこに向かい、さらなる高みを目指すことを伝えました。**

寒暖差が激しく体調を崩しやすい時期です。水分補給、十分な睡眠、栄養バランスの摂れた食事、適度な運動、排便、起床時刻の規則化等、**基本的な生活リズムが大切です。**また、感染症対策については、**「恐れず、正しく、適切に」対応し、感染症対策（朝の検温、マスクの着用【不織布マスクを推奨】、手洗い、手指の消毒、３密回避等）を徹底します。**保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。

学校通信　No.４５　令和３年１０月１８日　小野市立中番小学校長　田中康善